

# 「ころころぱったん」ゲームで楽しいひととき

教育課程上の位置付 自立活動

## 実施概要

この施設との交流は、今年6月に当校の行事へ招いたのが始まりです。今回、初めて施設1階のつどいの間で活動を行いました。生徒と利用者混合のピンクチーム、黄色チームを作り、「ころころぱったん」ゲームを行いました。上がピンク、下が黄色の“く”の字型に開いたボード5つを床に置き、1人1分間ずつ、ボードにボールを当てて倒し合い、全員が終了した時点でどちらの色が多く立っているか競いました。その後、全員で「もみじ」を合唱しました。

- 活動参加者** 当校 生徒…5人 担当教員…9人
- 交流先** 利用者…9人 担当職員…5人
- 交通手段** 当校とむさし村山苑との距離はおよそ60m  
車いすを押して徒歩で約5分



思い切ってボールをエイ！ボードがパッタン

## 活動報告 実施日：10月27日(金)

始めの自己紹介では、生徒から利用者の方へ、自分たちが作成した作品(四季をイメージしたタペストリーと色鮮やかな模様のレインスティック)を紹介しました。利用者の中には感激して、生徒に手を差し伸べて言葉を掛ける方もいました。

「ころころぱったん」ゲームは、生徒と利用者が一緒になり、ピンクチーム、黄色チームに分れて、始めに生徒の代表がゲームの手本を見せてスタートしました。ゲームはバスケットのボールで“く”の字型のボードを倒し合います。日頃から練習をしている生徒は上手にボードを倒していました。初めての利用者にはなかなかボードを倒すことができずでした。しかし、1分間に何回でも投げられるゲームのため、しだいに上手になり、生徒と利用者が交代しながらチームワーク良くボードを倒し、お互いにガッツポーズする光景なども見られ、盛り上がりました。

その後、全員で「もみじ」を合唱しました。模造紙に書かれた歌詞を見ながらみんなで歌い終わると自然に生徒も利用者も笑顔になり、拍手が起りました。最後に生徒から利用者の特製のレインスティックを贈って活動を終了しました。

### 当日のスケジュール

- 13:15** 学校、施設、SSC、都教委4者事前打合せ (1F ミーティングルームにて)
- 13:40** 生徒引率教員と施設に到着。1階「つどいの間」で活動準備
- 13:45** 開会、始まりの挨拶(生徒)、自己紹介(生徒・利用者)
- 13:50** 代表生徒ゲームの手本を紹介  
生徒と利用者の混合チーム(ピンクと黄色)を作る  
ジャンケンで投球の順番決め  
1人持ち時間1分間。何回でも投げたのを倒すことができるゲーム終了。勝敗発表
- 14:12** 生徒と利用者が一緒に「もみじ」合唱  
生徒はモミジの飾り物を持ちながら歌う

- 14:15** 閉会、終わりの言葉(生徒)
- 14:20** 片付け、生徒引率教員と施設を学校に向け出発

### ■活動のために準備したもの

- 自己紹介の一つとして授業で作成した共同作品(レインスティック)を持参しました。そのうち1つをプレゼントとしてお渡ししました。
- 授業で使用している教材(ころころぱったんのボールとボード、もみじの装飾)

### ■工夫したところ

初めての場所、短い時間での交流ということもあり、生徒には授業での活動でなじみのあるもの、また高齢者の方にとっても理解しやすい簡単なルールである「ころころぱったん」を主な活動としました。

### ■実施にあたって注意したところ

事前に学校担当者・施設側担当者が、双方の施設へ行き、交流相手の方々の日頃の様子を把握し、当日の対応の参考になるようにしました。

### ■良かったと思うところ

「一緒に活動し楽しい時間を共有する中で、高齢者の方に温かい気持ちを感じていただく」ことをねらいとして、中学部及び自立活動を主とした教育課程の生徒の参加に取り組みました。結果としては、短い時間ではありましたが、その意義が見出せたと思われまます。

### ■今後に向けての学校からの抱負

次年度も継続して交流したいと考えています。年1回だけでなく、日常的に身近に感じられる関係になるよう、相談・連携していきたいと思っています。

当校は、肢体不自由特別支援学校です。学区は武蔵村山市及び6市1町で、小学部・中学部・高等部の児童・生徒が通っています。学校間交流、副籍交流、図書館の利用、近隣商業施設への買い物学習、福祉施設や商業施設等で職場体験等には取り組んできましたが、これまで社会貢献活動は行ったことはありませんでした。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

#### 生徒

- 学校に戻り、教員がA君に「楽しかったですか。」と右手を、「もう1回行きたいですか。」と左手を差し出すと、A君は体を前に乗り出して、笑顔で教員の左手に手を伸ばして答えていました。
- 授業で歌っている大好きな「もみじ」の曲が流れると、Bさんは満面の笑みを浮かべて聴いていました。その笑顔を見た高齢者の方も「とてもうれしそうね。この曲が好きなのね。」と、その表情に気付いて話しかけてくださいました。

#### 教員

温かく出迎えてくださいました。作品紹介では「きれいね。すてきね」と言葉を掛けてくださいました。ゲームでは「できるかしら。これでいいの」等と言いながら楽しんでいました。最後に「ありがとう。また来てね」等の言葉を掛けていただき、思い出に残る時間になりました。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

#### 利用者

- 子供さんたちが、生き生きとしていて、キラキラして見えました。うれしかったです。
- 今日は楽しかったです。ありがとうございました。
- 子供さんたちとの交流は、初めてでした。とても良かったです。自分の住んでいる近くに、特別支援学校の子供さんたちが元気にいらっしやることを知りませんでした。
- 子供さんたちが来て、ボール投げをして、一緒に遊べて楽しかったです。

#### 施設長

私たちのむさし村山苑は高齢者施設です。村山特別支援学校さんはお隣さんといっていい距離にあつてこの度の交流会は私たちにとっても大変うれしい体験でした。高齢者にとって生徒さんたちはかわいい「孫」です。生徒さんたちとのゲームは真剣勝負そのもので、皆さん本当に生き生きとした表情をしていました。生徒さんたちが帰ったあと、皆さん、寂しい表情になってしまいました。楽しい時間をありがとうございました。私たち施設も地域で開かれた、地域と共生する施設を目指しています。これからも地域の仲間として一緒に活動していけたらと思います。

### ■実施までの経過 ※ (コ) : コーディネーター

- 8月10日 (コ)、当校副校長、主幹教諭と第1回打合せ。施設を訪問。担当職員に挨拶
- 8月25日 (コ)、当校職員室にて全教員に今年度社会貢献活動モデル事業について説明
- 9月22日 (コ)、当校主幹教諭と施設を訪問。打合せを行い、会場を確認
- 10月19日 施設職員が当校に来校。生徒の様子を確認
- 10月25日 当校教員がむさし村山苑を訪問。施設の会場を再度確認

### 交流先



社会福祉法人 恭篤会  
特別養護老人ホーム  
**むさし村山苑**

住 所：東京都武蔵村山市学園二丁目37番5

### ■施設概要

- 特別養護老人ホーム(ユニット型定員97名・従来型定員30名)
- ショートステイ(ユニット型定員3名・従来型定員10名)



初対面でもなごやかに



日頃の練習の腕前をしっかりと見せます